

# 災害時対応スキル向上のための体制作り

## ～施設防災マイスター育成への第一歩～

**法人・事業所名**

社会福祉法人清修会 介護老人福祉施設サンリバー

**職種・発表者**介護課長・介護支援専門員／渡邊陽介  
介護課長／片岡祐介

### 01 取り組んだ課題

- BCP（業務継続計画）策定の義務化に伴い、東邦ガス㈱と協働で策定。それに先立ち非常用設備を順次整えてきたが、それらの中には手動操作が必要なものもあり、それを実践し理解している職員は数名…という現状。
- BCPや災害対応マニュアルを職員に周知し、操作も含めた災害対応スキルを高めていくため、「ICTを活用したマニュアル」と「訓練のスケールアップ」を課題に新たな試みを行った。

### 02 具体的な取り組み

- マニュアルの動画化。
  - ・災害対応時の作業マニュアルを紙媒体から動画マニュアルに変更作成しタブレット端末及びクラウドサーバに保存。BCP等の紙媒体を通信アプリを利用して全職員各自のスマホに配信。
- 年に2回の【災害訓練の日】を設定。
  - ・行程を見直し各種訓練と研修を一体化し集中して同一日に実施。スケールアップさせた事で職員の防災対策への関心と災害時対応の知識およびスキルの向上を目指した。（避難確保計画/消防計画/非常災害対策計画/これら各種訓練、備蓄品及び設備等自主点検/BCP研修）
  - ・半日勤務といった勤務形態を設けることで参加職員数を増やせるようシフト調整。
- 上記を通して、取り組み前後でアンケートを実施し職員の理解度を調査。

### 03 活動の成果と評価

- アンケート結果より、「訓練規模が大きくなった事でより緊張感を持って動くことが出来た」設備操作訓練に参加できなかった職員からは、「実際に操作体験したい」といった積極的な要望が多数。災害への危機意識や災害対応スキルを習得したいという積極性の高まり。
- 6月と12月のアンケートを比べ、動画マニュアル作成前後で理解度が上昇し、効果的。
- 感染症対策・外国人技能実習生に対する介護技術等の既存マニュアル等を動画化展開しようと各委員会が始動。クラウドサーバを利用し将来的に多種多様な動画コンテンツのラインナップが増え、職員教育としてのツールが拡充できる波及効果も。

### 04 今後の課題

- 動画の重要箇所にテロップの要望あり、編集アプリ等を活用し分かりやすい動画映像に変更。
- アンケートは、自身の現状の理解度を把握するためのツールとして位置付けるとともに、名称を「災害時対応スキルセルフチェックシート」へ、書式も理解度の推移がわかるよう変更。
- 災害対策に終わりはなく、繰り返しが必要。チェックシートから理解度の低い項目を読み取り、次回以降の訓練で重点的に取り入れる。この繰り返しにより、訓練内容の充実を継続的に図っていく。

事例研究発表

# 災害時対応スキル 向上のための体制作り

～施設防災マイスター育成への第一歩～



社会福祉法人 清修会

介護老人福祉施設 サンリバー

愛知県一宮市木曾川町字笹原148番地

平成15年より事業を開始

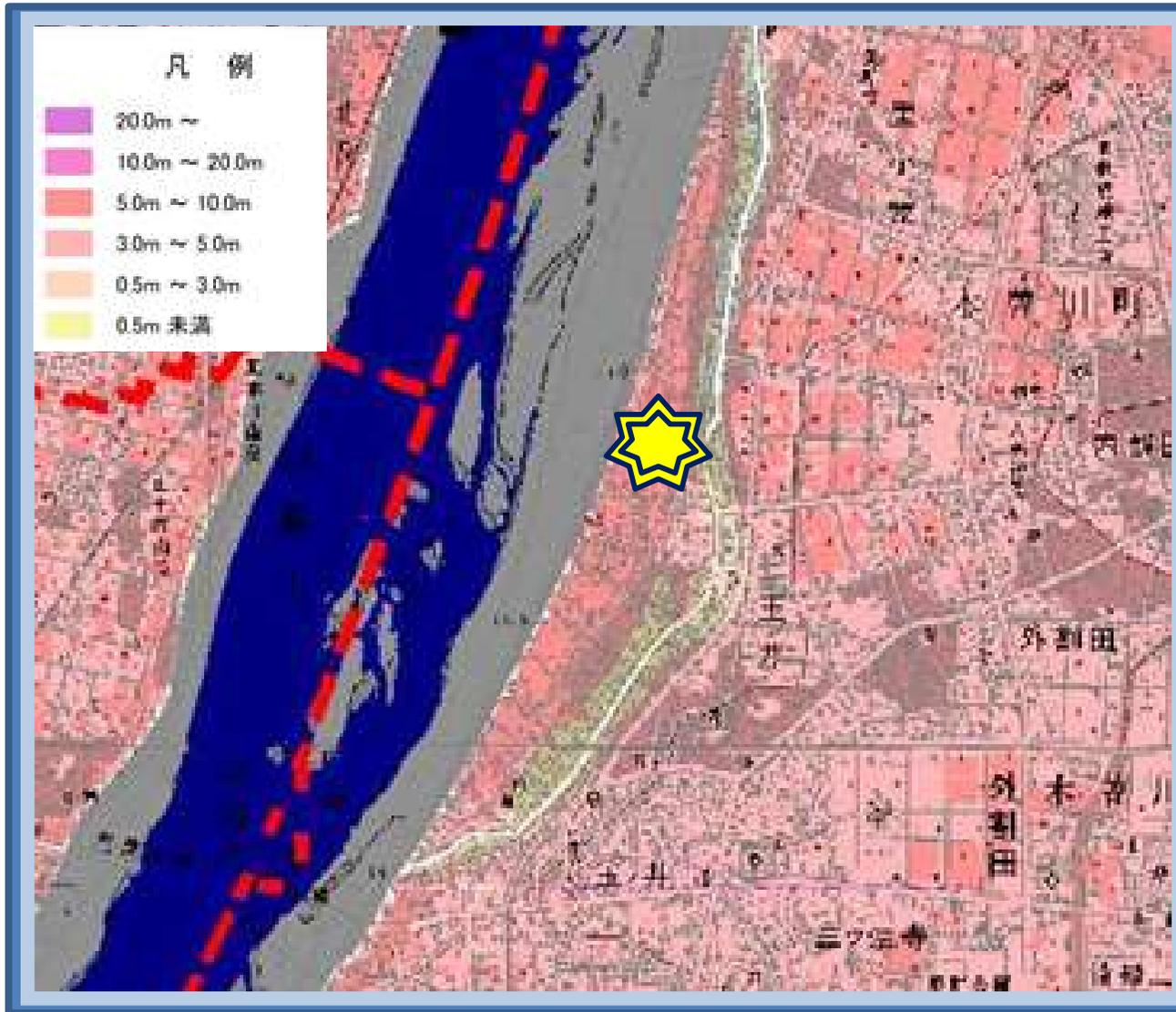
特養80名 / ショートステイ10名

デイサービス25名 / 居宅介護支援事業所

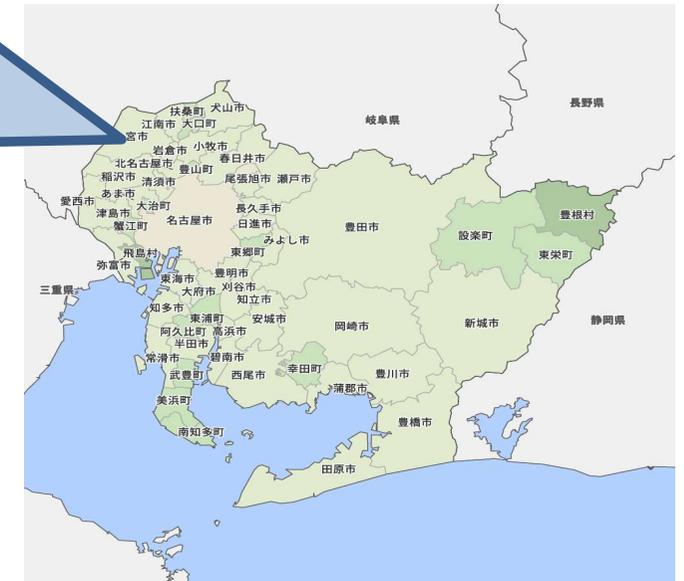
基本理念 「安らぎと調和」

発表者 渡辺 陽介

# 施設の立地環境



一宮市洪水ハザードマップより  
(令和3年3月25日発行)



洪水浸水想定区域 家屋倒壊等氾濫想定区域 水深5m~10m未満

# テーマの選定理由①

介護老人福祉施設  
サンリバー



東邦ガス  
エネルギー  
エンジニアリング(株)

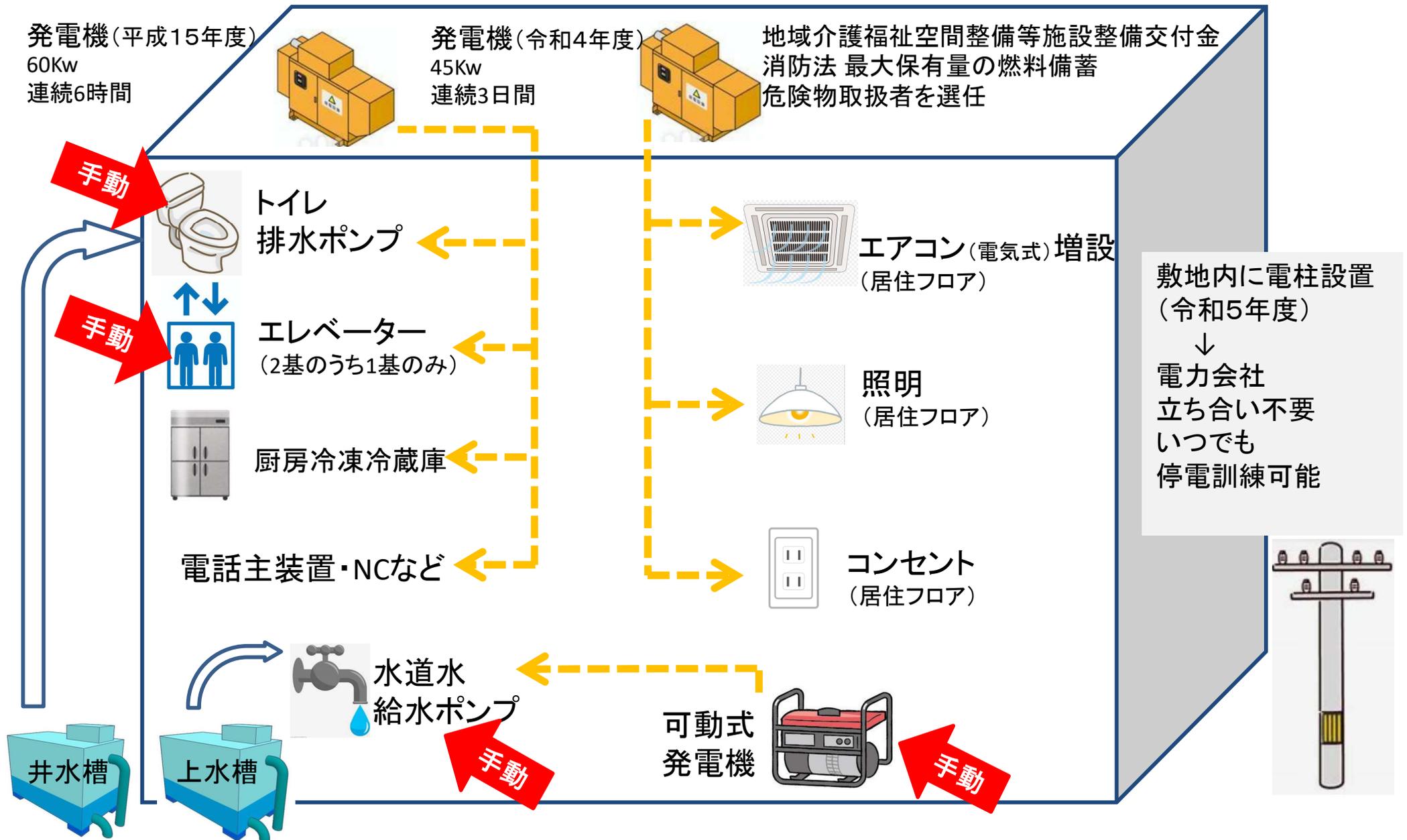
協働

- ・事業内容
- ・建物の構造
- ・インフラ設備
- ・各職種、部署構成
- ・備蓄品の種類、数量
- ・施設独自の災害対応マニュアル

BCP  
自然災害発生時  
業務継続計画の策定  
及び  
導入研修・訓練を  
協働して実施

BCPや災害対応マニュアルを  
職員へ十分に周知したい

# テーマの選定理由②



設備の場所や手動操作手順を知らない……

### 目標

施設防災マイスターを  
育成したい

マイスターとは・・・専門的な知識や技術を持っている人

### 課題

ICTを活用したマニュアル  
訓練のスケールアップ

# マニュアルの動画化①



## 安心感

いつでも、誰でも、初めてでも  
動画の通りに行動すればよい

## 空間認識

紙媒体(文字や写真)よりも、  
場所や位置の確認や  
動作手順が理解しやすい

## 暗闇でも

停電時でもタブレットで視聴可能

## マニュアルの動画化②

## ～リストアップ～

地震

水害

- ・指定避難所(木曾川西小学校)までの避難経路動画

地震

- ・ガスメーターの復旧操作

作成済

水害

- ・車椅子で階段を使用した垂直避難介助方法

火災

- ・消火器/消火栓の使用方法

停電

- ・エレベーターを非常用発電機に切り替えるレバー操作

停電

- ・水道水給水ポンプ装置を非常用発電機に切り替えるレバー操作

作成済

停電

- ・可動式発電機の立ち上げ操作

作成済

停電

- ・トイレ排水ポンプ装置を非常用発電機に切り替えるレバー操作

作成済

## マニュアルの動画化③ ～動画の管理～



動画マニュアル専用タブレットを  
各階ステーションに設置

タブレット端末 および  
クラウドサーバーに保存

### 災害通信アプリ「オクレンジャー」

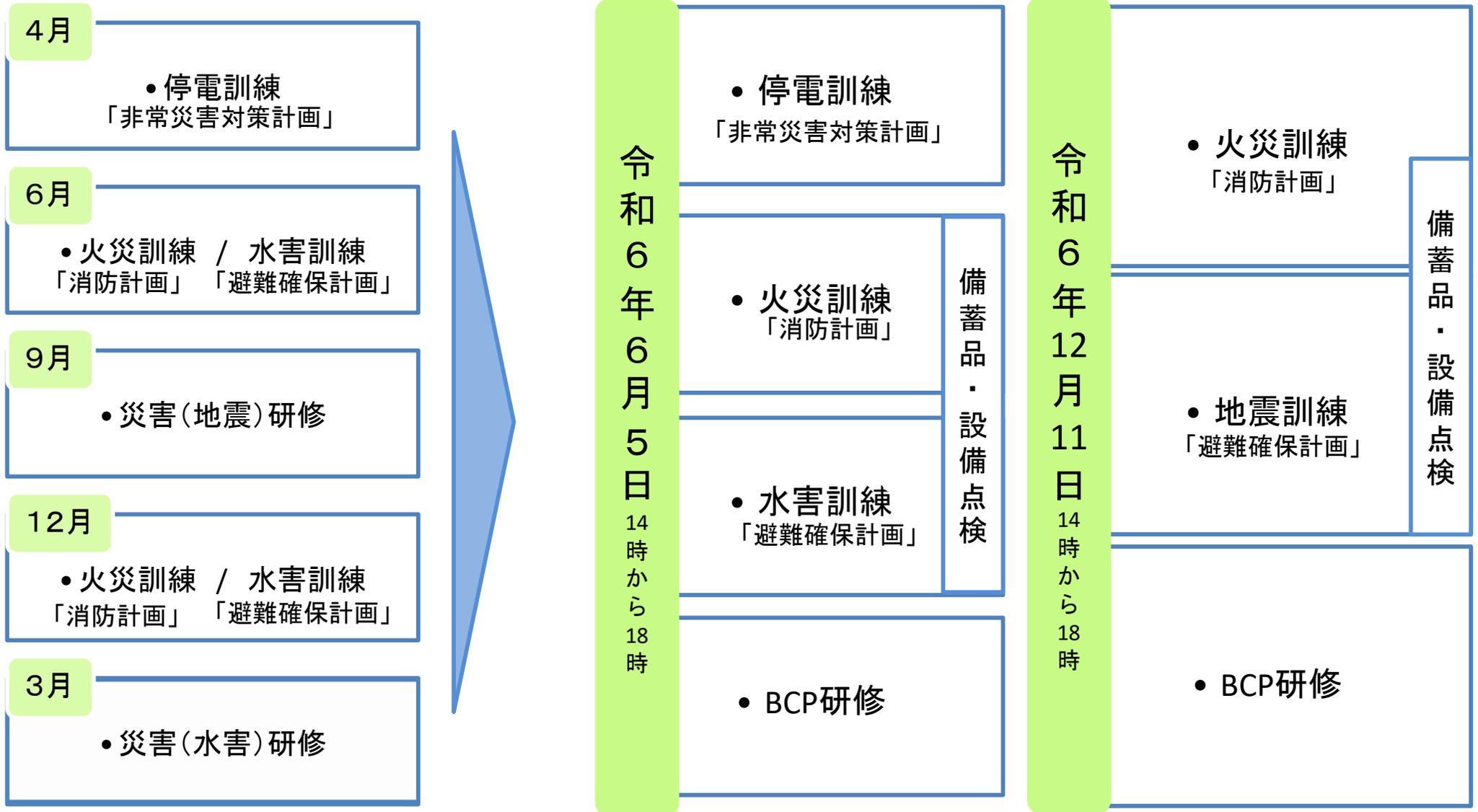


災害時安否確認  
システム



災害時に自動で  
全職員の安否確認が  
とれる

# 訓練のスケールアップ①～「災害訓練の日」を設定



『各種訓練と研修を一体化し、同一日に実施』

# 訓練のスケールアップ② ~シフトの調整~

令和5年 6月 / 12月      令和6年 6月 / 12月

6月 / 12月 (夜想定) / (昼想定) 火災訓練	特養	7 / 8 人	7 / 10 人
	事務	0 / 2 人	0 / 2 人
	デイ	0 / 0 人	0 / 8 人
	居宅	0 / 0 人	0 / 1 人
	合計	7 / 10 人	7 / 21 人

6月 / 12月 水害訓練 *令和6年12月は地震訓練	特養	7 / 6 人	10 / 10 人
	事務	0 / 0 人	0 / 0 人
	デイ	0 / 0 人	0 / 0 人
	居宅	0 / 0 人	0 / 0 人
	合計	7 / 6 人	10 / 10 人

停電訓練	特養	4 人	11 人
	事務	1 人	2 人
	デイ	0 人	8 人
	居宅	0 人	1 人
	合計	5 人	22 人

半日出勤  
(4時間勤務)



訓練参加者増員

# 訓練のスケールアップ③ ～訓練内容の見直し～

## 知識力

### 『まずは知る事から始めよう・・・』

- 停電訓練 → 現場対応班（オリエンテーリング的なエンタメ要素）
- ・停電時使用可能照明はどこ？
  - ・停電時使用可能コンセントはどこ？
  - ・PHS / NC / 内線 / 外線電話は使える？
- 設備操作班

電気設備業者様指導の下、  
現場職員も設備の手動操作を1つずつ実践

## 実践力

### 『計画型訓練から、より実践型訓練へ・・・』

火災訓練 → 出火場所を訓練開始直前に職員へ告知

水害訓練 → 上方避難誘導する利用者様を訓練開始直前に職員へ告知  
（\* 訓練参加利用者様へは事前に協力依頼済）

## 全体の底上げ

### 訓練不参加職員へのフォロー

訓練不参加職員は動画マニュアルを視聴 → 参加者と同等の知識習得

# 活動成果と評価① ～アンケート結果1-1～

アンケート項目(一部)	6月訓練後	12月訓練後	上昇値
	理解度の平均	理解度の平均	
作成済 ガスメーターの復旧操作	1.15	2.87	1.72
作成済 可動式発電機操作	1.21	2.82	1.61
作成済 水道水給水ポンプ装置 電源切替レバー操作	1.15	2.67	1.52
作成済 トイレ排水ポンプ装置 電源切替レバー操作	1.15	2.67	1.52
エレベーター 電源切替レバー操作	1.15	2.07	0.92
指定避難所までの 避難経路	1.78	2.72	0.94
非常用コンセントの場所	1.94	3.07	1.13
非常食関連 保管場所と数量	2.23	2.77	0.54

動画マニュアル  
作成済項目は、  
未作成の項目よりも  
上昇幅が大きい



動画が効果的で  
あったことが  
分かった

## 活動成果と評価② ～アンケート結果1-2～

「普段使わない設備を初めて扱い  
設備操作に自信が持てた」

「訓練規模が  
大きくなった事で  
緊張感を持って動けた」

設備操作訓練に参加できなかった職員

「自分も実際に操作を  
体験したい」

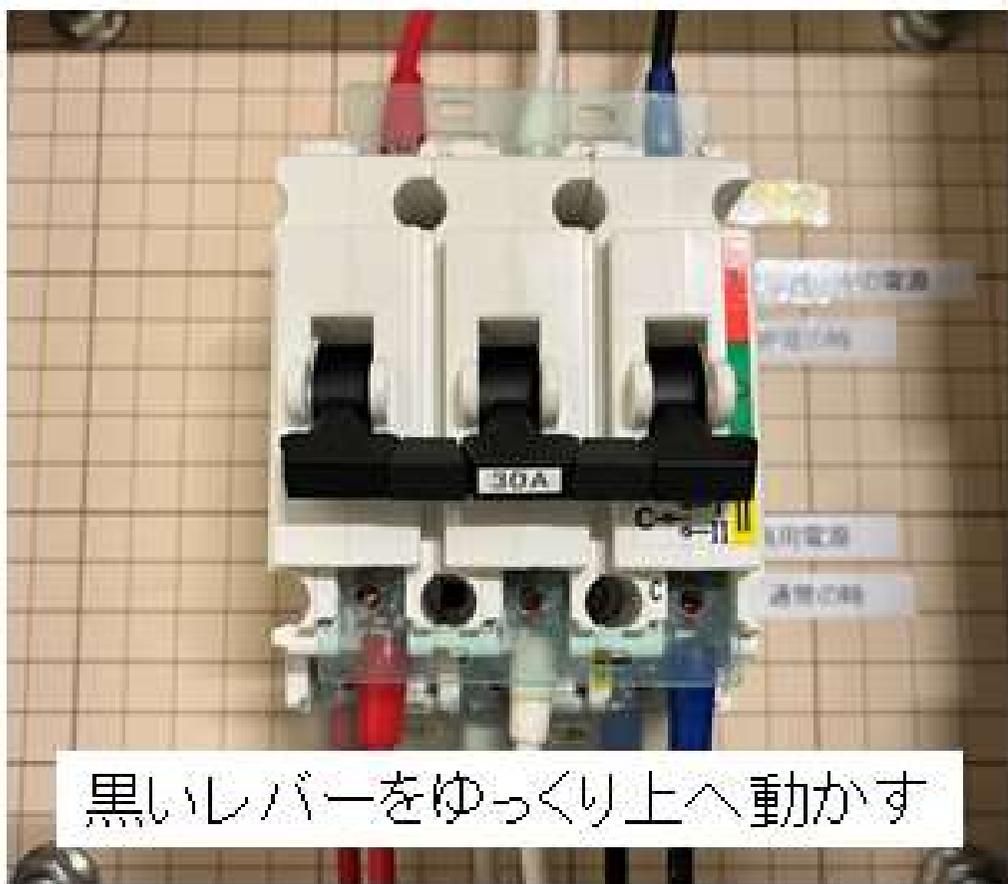
職員の間には災害に対する危機意識や  
災害時の対応スキルを習得したい  
といった積極性が高まる

# 波及効果



# 今後の課題① ～より分かりやすい動画マニュアル～

テロップの例



テロップ等の補足が  
欲しい！

編集アプリやソフトを  
活用

より分かりやすく  
理解度UP！

# 今後の課題② ～より効果的な訓練を・・・～

変更前

アンケート

項目	理解度
非常用コンセントの場所	【 1 2 3 4 5 】
指定避難所までの 避難経路	【 1 2 3 4 5 】
⋮	

変更後

災害対応スキルセルフチェックシート

項目	理解度【1～5段階で記入】					
	R7.6	R7.12	R8.6	R8.12	R9.6	R9.12
非常用コンセントの場所						
指定避難所までの 避難経路						
⋮						

**PLAN**

理解度の低い項目を  
次回の訓練に  
取り入れる

**DO**

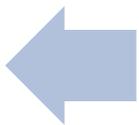
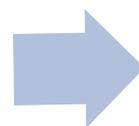
訓練実施

**ASSESSMENT**

セルフチェックシートの  
理解度の低い項目を  
洗い出す

**CHECK**

セルフチェックシート



# 訓練・研修の様子



ご清聴ありがとうございました

